

文庫めぐり

(11)

九州大学附属図書館医学分館

まもなく百周年を迎える九州大学医学部の研究室には明治以前の古書がよく見受けられたが、組織の再編、教授の転出や定年退職の際、その多くは附属図書館医学分館の貴重図書室に保管されるようになってきている。和書、漢籍や写本についてはおおよそ六〇〇冊に及ぶ仮目録が作成されており、一番古いものは一六世紀にまで遡る。また、寄贈によるものも相当な数があるが、こちらも少しずつ整理が進んでいる。

洋書の最初のコレクションは、一括購入された「基礎医学古医書集成」(二六〜一八世紀、一五六五冊)であり、中世末期の小型本からカウパーの『解剖学』の大型本まで、保存状態の大変よいものばかりである(目録有り)。さらに、二年前に医学分館の別所にある「保存図書館」で一六四九年から一八〇〇年に亘る三〇九冊の洋書が発見され、これらも貴重図書室に移され、仮目録が作成された。昨年(二〇〇〇)三月には杉岡洋一総長の支援により、保存図書館の再調査が行われ、さらに約八百冊の古医書の他に、貴重な医史学専門書も約二百冊が確認された。

とりわけ初期の医学部教授の多くは和書のみならず、

ヨーロッパ旅行中にさまざまな分野の洋書も積極的に購入している。たとえば一六世紀に来日したイエズス会士による文献や、ケンペルの『日本誌』(一七二九年刊行の仏語訳及びオランダ語版)など、日本関係の著名な古書も多数含まれている。その貴重な資料を医史的、書誌学的に調査する附属図書館研究開発室の事業として、平成一二年度に上記の貴重図書コレクションの総目録をインターネットで公開することになった。

また、大学博物館も昨年の四月から活動を開始したので、今後図書のみならず、道具、機械などの資料も積極的に収集・保管される見通しである。

【利用案内・蔵書検索】 <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/libinf/med/index.html>

【所在地】千八二八五二 福岡市東区馬出三一―一

☎〇九二六二一〇三七

【利用法】医学(医史学を含む)・生命科学分野の学習又は調査・研究を目的とする者が閲覧できる。大学関係者・医療関係者は身分証明書又は所属機関の紹介状を提示。一般市民は往復葉書に利用目的・利用期間を明記の上許可を得ること。複写は電子コピー、貴重書については所定の様式により分館長の許可を得てマイクロフィルムからの焼付とする。

(ヴォルフガング・ミヒェル)